

## 2019年度 事業の概要

[2019年4月1日～2020年3月31日]

2019年度の年間取引量は、間接オークションの通年運用等の要因により、前年度2,105億kWhに対し、約40%増の2,951億kWhとなった。スポット取引の年間平均価格は、燃料価格の低下等を背景に、前年度の9.76円/kWhから7.93円/kWhに低下した。この間、当所では、電力システム改革における検討状況なども踏まえ、卸電力市場の整備・活性化に資する施策の検討・実施に取り組んだ。

### 1. 現物の電気の売買市場

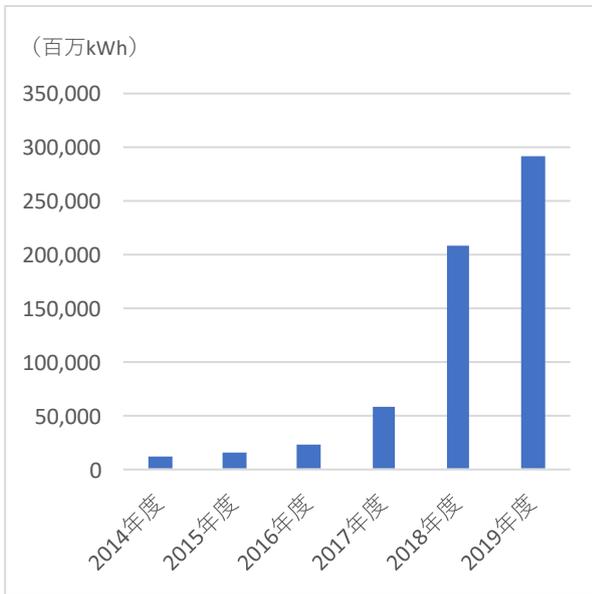
#### ①主な取引の取引量等の推移

	会員数 (期末) (社)	総取引量				スポット取引 (システム・ライズ) 平均価格 (円/kWh)
		(百万 kWh)	スポット取引 (百万 kWh)	時間前取引 (百万 kWh)	先渡市場取引 (百万 kWh)	
2014年度	109	13,698	12,601	864	※234	14.67
2015年度	130	16,803	15,396	1,312	※95	9.78
2016年度	124	24,724	22,961	1,660	102	8.46
2017年度	135	60,867	58,592	2,226	48	9.72
2018年度	163	210,460	208,642	1,747	70	9.76
2019年4月		20,206	20,059	145	1.1	8.05
5月		21,096	20,954	139	1.8	7.60
6月		22,326	22,128	193	4.7	7.89
7月		27,057	26,861	187	8.6	7.49
8月		27,554	27,425	119	9.6	10.25
9月		25,649	25,402	240	5.8	9.07
10月		23,790	23,530	253	7.2	8.24
11月		22,772	22,555	216	0	7.75
12月		26,958	26,748	209	0	8.22
2020年1月		27,008	26,793	214	0.8	7.68
2月		25,699	25,432	255	11	6.86
3月		24,879	24,617	261	0	5.98
2019年度	184	295,141	292,510	2,580	51	7.93

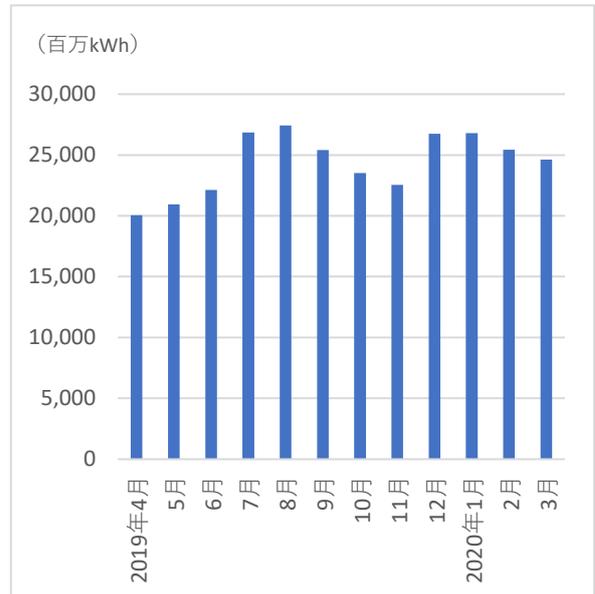
※ 先渡市場取引：2014年度、2015年度の取引量には先渡定型取引の取引量を含んでいる。

## ②スポット取引 取引量の推移

年度別

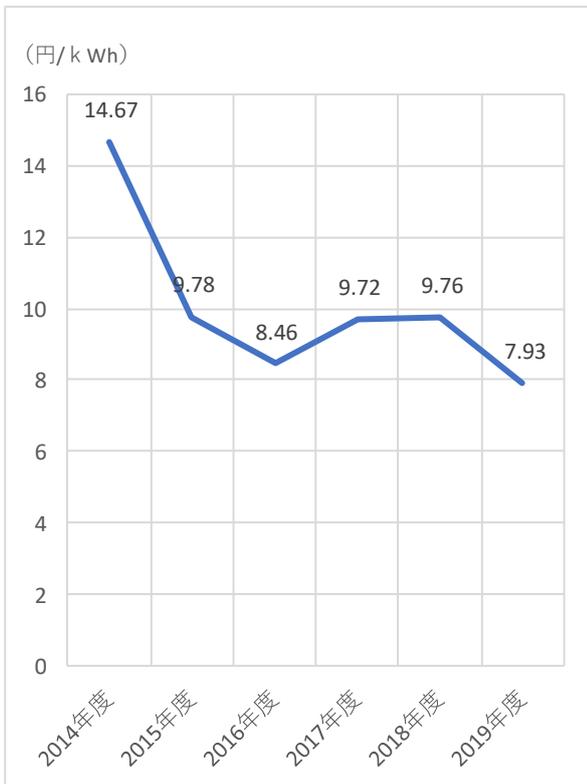


2019年度月別

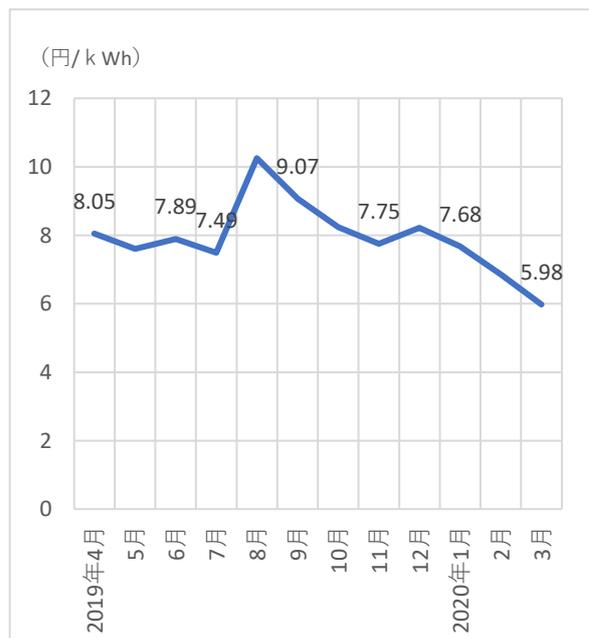


## ③スポット取引 システムプライス(平均価格)の推移

年度別



2019年度月別



## 2. 非化石価値の取引市場

### ○約定量等の状況

#### <2017年度非化石証書取引>

取引名	通年
約定処理日	2018年5月18日
約定量	5,155,738kWh
約定最高価格	4.00円/kWh
約定最安価格	1.30円/kWh
約定量加重平均価格	1.30円/kWh
入札参加会員数	26
約定会員数	26

#### <2018年度非化石証書取引>

取引名	第1回	第2回	第3回	第4回
約定処理日	2018年8月10日	2018年11月9日	2019年3月1日	2019年5月17日
約定量	2,241,311kWh	21,020,374kWh	8,557,640kWh	3,500,555kWh
約定最高価格	4.00円/kWh	1.40円/kWh	4.00円/kWh	1.40円/kWh
約定最安価格	1.30円/kWh	1.30円/kWh	1.30円/kWh	1.30円/kWh
約定量加重平均価格	1.30円/kWh	1.30円/kWh	1.30円/kWh	1.30円/kWh
入札参加会員数	7	9	40	18
約定会員数	7	9	40	18

#### <2019年度非化石証書取引>

取引名	第1回	第2回	第3回	第4回
約定処理日	2019年8月9日	2019年11月8日	2020年2月7日	2020年5月15日
約定量	106,376,433kWh	186,640,635kWh	84,674,694kWh	63,300,355kWh
約定最高価格	2.00円/kWh	1.50円/kWh	2.00円/kWh	2.00円/kWh
約定最安価格	1.30円/kWh	1.30円/kWh	1.30円/kWh	1.30円/kWh
約定量加重平均価格	1.30円/kWh	1.30円/kWh	1.30円/kWh	1.30円/kWh
入札参加会員数	20	28	32	36
約定会員数	20	28	32	36

### 3. 間接送電権の取引市場

#### ○商品の状況

<設定区間>

東北 ⇒ 北海道      東京 ⇒ 中部      中部 ⇒ 東京

四国 ⇒ 関西      四国 ⇒ 中国      九州 ⇒ 中国

(注) 設定区間は 2020 年 3 月 31 日現在

#### ○約定量等の状況

対象月	約定日	商品数	高値 円/kWh	安値 円/kWh	約定総量 MW
2019年6月	2019年4月24日	24	1.36	0.01	2,844.6
7月	5月22日	24	1.15	0.01	4,340.2
8月	6月24日	30	1.12	0.01	5,671.9
9月	7月24日	24	0.90	0.01	2,950.8
10月	8月22日	24	1.07	0.01	824.2
11月	9月25日	30	1.10	0.01	611.0
12月	10月24日	24	1.30	0.01	5,055.0
2020年1月	11月22日	30	1.60	0.01	6,545.4
2月	12月24日	24	1.61	0.01	2,300.4
3月	2020年1月22日	24	0.01	0.01	20.4
4月	2月25日	24	1.12	0.01	810.0
5月	3月25日	30	1.15	0.01	734.3

### 4. ベースロード取引市場

#### ○約定量等の状況

<2020年度分取引>

商品コード 約定日		BY2001 2019年8月9日	BY2002 2019年9月27日	BY2003 2019年11月22日	合計
北海道 (B1)	約定価格(円/kWh)	12.47	12.37	12.45	
	約定量 (MW)	12.70	2.20	12.90	27.8
東京 (B3)	約定価格(円/kWh)	9.77	9.95	9.40	
	約定量 (MW)	88.20	26.80	193.60	308.6
関西 (B6)	約定価格(円/kWh)	8.70	8.47	8.70	
	約定量 (MW)	83.40	53.20	61.30	197.9

## 5. 主な取り組み事項

年月	主な取り組み事項
2019年	
4月	間接送電権取引に関する説明会 開催 間接送電権取引の開始
5月	2018年度第4回非化石価値取引 取引監視・取引検証 四半期報告（平成30年度 冬期）
6月	ベースロード取引に関する説明会 開催
7月	ベースロード取引の開始（第1回約定日：8月9日）
8月	2019年度第1回非化石価値取引 2020年度分ベースロード取引（第1回約定日：9日） 取引監視・取引検証 四半期報告（令和元年度 春期）
9月	2020年度分ベースロード取引（第2回） 第3回間接送電権の在り方等に関する検討会 開催
10月	欧州電力取引所の状況に関する現地調査
11月	2019年度第2回非化石価値取引 2020年度分ベースロード取引（第3回） 取引監視・取引検証 四半期報告（令和元年度 夏期） 非FIT非化石価値証書取引に関する説明会 開催
12月	第4回間接送電権の在り方等に関する検討会 開催
2020年	
1月	
2月	2019年度第3回非化石価値取引 取引監視・取引検証 四半期報告（令和元年度 秋期） 外部有識者による勉強会 開催
3月	データセンター移転

## 6. 2020年度の主な取り組み

電気事業法第97条第1項に基づく指定を受けた卸電力取引所として、開設する取引市場の公正性・透明性・信頼性・利便性の向上に努めるとともに、現物の電力の卸取引の機会の拡大、指標性のある価格の形成と発信を通じ、電気事業の発展に寄与することを目的とする。特に「中間論点整理」(第二次)、「電力・ガス基本政策小委員会制度検討作業部会 中間とりまとめ」等に示された各施策の準備・実施等に係る課題に注力する。

### ○卸電力の取引機会の拡大及び指標性のある価格の形成に向けた主な取り組み

- ①スポット市場等の市場の停止に係る検討
- ②市場監視業務等の中立性・独立性の向上、より実効的な体制の検討
- ③取引参加者への情報提供の拡充

### ○市場開設業務の適確な実施に向けた主な取り組み

- ①非FIT 非化石価値取引市場の開設等、新たな取引に必要なシステム機能の構築
- ②中長期的なシステム構想の策定
- ③運営体制の強化
- ④関係機関との連携強化